

冬は危険がたくさん

冬の生活には、冬ならではの危険がたくさん潜んでいます。でも、毎年、毎日と定期的に行う作業は、慣れてきて気が緩んでしまいがちです。今月号は、被害に遭わない、事故を起こさない、巻き込まれないための注意点を紹介します。

問合せ 市除排雪対策本部 ☎22局8400



雪 下ろし事故を防ぐ

毎年、テレビや新聞などで、雪下ろし作業中の事故が報じられています。屋根の雪下ろしは、重大な事故につながる可能性がある非常に危険な作業です。安全に作業するためにも、今一度、作業手順や装備を考えましょう。



雪下ろし安全装備の貸し出し

屋根の雪下ろし作業中の事故を防ぐため、安全装備の貸し出しを行っています。

安全装備は、万が一の転落などを防ぐためのものですが、装備を過信することなく、慎重に雪下ろし作業を行うことが何より重要です。作業を行う際は十分に注意し、安全な作業を心掛けましょう。貸出道具 安全帯、命綱、ヘルメット 貸出日数 3日以内 申込・問合せ先 市防災対策室、北村・栗沢両支所



動画再生



動画を見よう!

COCOAR2をインストールし、安全帯の使い方などを確認しましょう!

IOS Android



安全な雪下ろし作業のための7つのポイント

安全な服装で!

- ヘルメットを必ず着用し、動きやすい服装で作業を行う
- 足裏の感触が大事なため、厚底の長靴は避ける
- 滑りにくい防寒性のゴム手袋を使う

屋根の雪のゆるみ、天候に注意!

- 暖かい日は避け、気温の低い午前中に作業を行う
- 強風や大雪など悪天候のときは作業を控える

正しい使い方と適した用具で!

- はしごの足元をしっかりと固める
- 用具はロープを使い上げ下げする
- 軽くて雪が付きにくいスコップやスノーダンプを使う

作業は2人以上で!

- やむを得ず1人で作業する場合は、家族や隣近所に声をかけ、様子を見てもらう
- 携帯電話などを必ず持参する

無理な作業はしない!

- 体調の悪いときは作業をしない
- 準備運動をし、適度な休憩や水分を補給しながら行う
- 危ないときはスコップなどを離して身を守る
- 経験や体力を過信しない

命綱を必ず付ける!

- 命綱には滑りにくいザイル(登山用の綱)や麻ロープなどを使う
- 命綱は専用のアンカーを使うなど、しっかりと固定する
- 命綱を体に固定するには、安全帯など幅広のものを使う
- 命綱は正しく結び、屋根の上で止まる長さに調整する

作業には細心の注意を!

- 落雪に巻き込まれないよう、屋根の高い所から始める
- 雪止めから下に足場を作らない
- 屋根下が道路に面している場合は、通行人に十分注意する

詳しくは、雪下ろし安全ガイドをご確認ください



暴風雪に遭遇してしまったら

屋外にいるとき

- お店やコンビニ、人家などの建物に移動して天気のを回復を待つ
- 歩行中は、風で飛ばされてくる物に注意する
- 肌の露出を少なくし、体温の低下を防ぐ

車を運転しているとき

- 【視界が悪くなったら】
 - 公共施設やコンビニなどで天気の回復を待つ
- 【立ち往生してしまったら】
 - ハザードランプを点滅させ、停止表示板を置き、後続車からの追突を防ぐ
 - ロードサービスや近くのお店、人家などに救助を求める
 - 避難できる場所、救助を求められるお店や人家がないときは、警察・消防に連絡して救助を求める
 - 車を置いて避難するときは、除雪や救助活動の妨げにならないよう、連絡先を書いたメモなどと、車の鍵を車内に置いておく
- 【車内で救助を待つとき】
 - 排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険をなくすため、原則エンジンを停止する
 - 防寒などで、やむを得ずエンジンをかけるときは、マフラー(排気管出口)が埋まらないように定期的に除雪する
 - 窓を開けて換気をしていても、風向きや窓の開き具合によっては、一酸化炭素中毒の危険が高くなる場合があるので注意する



暴

風雪被害に遭わないために

暴風雪による被害は、晴天から荒天へと急変したときに多く、テレビやラジオなどで悪天候の呼びかけがあったときは、その時の天気が良くても油断せず、最新の気象情報や道路情報などを十分に確認しましょう。

道路情報を入手しよう

北海道開発局では、北海道地区道路情報、のホームページで、国道・道道の規制情報や、道路気象情報、道路画像情報を提供しています。お出かけ時の参考にしてください。



車に備えておこう

- ☐防寒着、長靴、手袋
- ☐スコップ
- ☐けん引ロープ
- ☐毛布
- ☐スノーブラシ

※日頃からこまめに燃料を補給しておきましょう。

除

雪機の事故を防ぐ

次のことに注意しましょう。家庭用除雪機を使用する際は、

- 作業中は、絶対に人を近づけない
- 雪詰まりを取り除くときは、エンジンを停止し、必ず雪かき棒を使う
- エンジンをかけたまま離れない
- 後進するときは、足元や後方の障害物に気を付ける

除雪機の安全装置の無効化による事故が目立ちます

お使いの除雪機の取り扱い説明書をよく読み、正しい使い方を理解しましょう。特に、安全装置の無効化は、絶対にやめましょう。詳しくは、消費者庁のホームページをご確認ください。



【安全装置の種類】

デッドマンクラッチ

手を離すと除雪機が停止

緊急停止クリップ

体に付けたクリップが機械から離れると除雪機が停止

緊急停止バー

バーを押すとクラッチが切れて除雪機が停止

緊急停止ボタン

ボタンを押すと除雪機が停止

デッドマンクラッチをひもなどで固定して、安全装置を無効化するのは絶対にやめましょう!

